



2007年10月23日

奉行

東証1部(4733)

株式会社 **オービックビジネスコンサルタント**

**2008年3月期 中間決算説明会**

**[www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

奉行

- I. 2008年3月期 中間決算の概要
- II. 2008年3月期 通期事業計画
- III. 今後の事業戦略



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

# IT・ソフトウェア業界の事業環境

2007年

2008年より構造的変化が始まる

## 中期的成長性の拡大

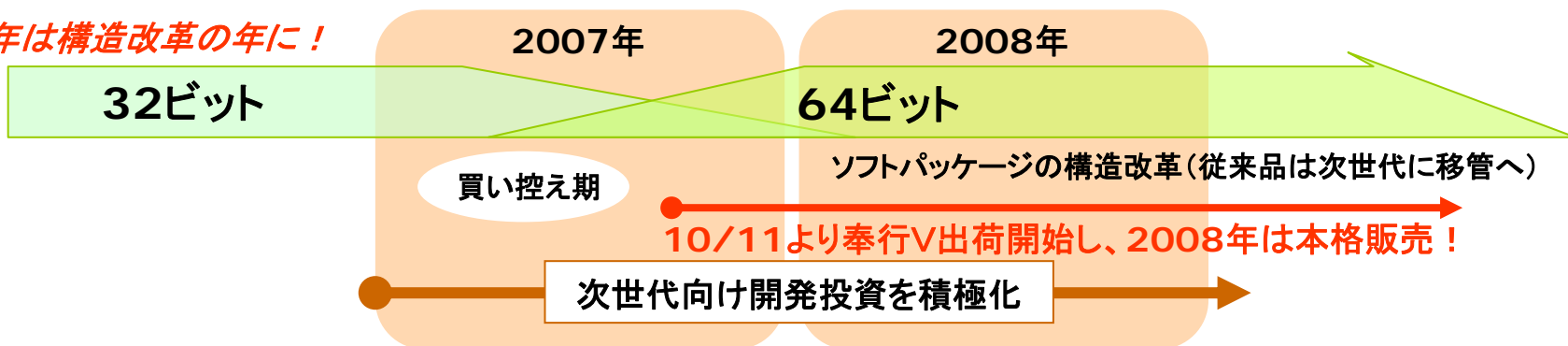
- ◆企業の情報管理に対する意識変化が、  
情報システム投資やソフトウェア投資需要を喚起
- ◆技術更新期(64ビットWindows VISTAの登場)にあたる2008年頃  
には市場は飛躍的に拡大
- ◆パッケージとコンポーネントがWEBなどを基盤につながって広がる
- ◆実装のステージに入ってきたSOA (SERVICE ORIENTED ARCHITECTURE)

## 中小企業 需要動向

- ◆新会社法の施行 ⇒ バージョンアップ需要発生へ
- ◆個人情報保護法の施行 ⇒ セキュリティー需要発生へ
- ◆J-SOX法 ⇒ 内部統制 ⇒ IT有効活用需要発生へ
- ◆消費税法改正 ⇒ 新規需要、バージョンアップ需要発生へ
- ◆SaaSによるソフトウェア利用サービスの開始 ⇒ 2008年以降

# 08/3月期 中間決算の概況

2008年は構造改革の年に！



- ◆ 売上高は増収を確保
- ◆ 今期は次世代製品投入に向けバージョンアップ製品を出していない等の影響もあり、期初予想は下回った
- ◆ 次世代に向けた開発研究に集中投資しており、営業利益は減少

## 売上高

前年同期比2.5%増、 期初計画比0.9%減

- ソリューションは前年同期比2.9%減少
- 関連製品は前年同期比2.7%減少
- サービスが前年同期比9.6%増加

## 利益

前年同期比29.6%増、 期初計画比24.8%増

- 【売上総利益】  
新ERPのカスタマイズの減少に伴い、売上総利益率は若干改善。
- 【営業利益】  
開発研究費(開発委託費含む)が前年同期比335百万円増加、販管人件費が前年同期比145百万円増加したため、営業利益率は6.5ポイント悪化。
- 【経常利益】  
株式売却益及び受取配当金の増加により、前年同期比29.6%増を達成

# 08/3月期 中間決算の概要

(単位:百万円)

	07/3期中間		08/3期 中間 期初予想	08/3期中間 実績		
		売上比(%)			売上比(%)	前年同期比
売上高	8,026	100.0	8,300	8,225	100.0	2.5
売上総利益	6,356	79.2	6,607	6,579	80.0	3.5
販売管理費	3,333	41.5	3,577	4,012	48.8	20.4
営業利益	3,023	37.7	3,030	2,567	31.2	△15.1
営業外損益	1,820	22.7	2,000	3,708	45.1	103.7
経常利益	4,843	60.3	5,030	6,275	76.3	29.6
当期利益	2,900	36.1	2,928	3,535	43.0	21.9

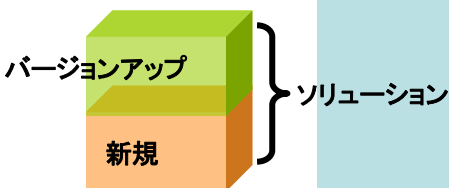
# 部門別売上高

(単位:百万円)

	07/3期 中間		08/3期 中間 期初予想	08/3期中間 実績		
		売上比(%)			売上比(%)	前年同期比
ソリューション	2,463	30.7	2,290	2,392	29.1	△2.9
関連製品	2,161	26.9	2,360	2,103	25.6	△2.7
サービス	3,402	42.4	3,650	3,730	45.3	9.6
合計	8,026	100.0	8,300	8,225	100.0	2.5

## ソリューション

- ◆ ①昨年のバージョンアップ(新会社法対応等)の反動、②今期はバージョンアップを出していない、という2つの要因により、全体的にバージョンアップが減少
  - 新ERPは新規、バージョンアップともに金額大幅減
  - LANPACKも新規、バージョンアップともに金額減少
  - Standaloneは、新規横ばい、バージョンアップは金額減少
  - Jシステムも新規、バージョンアップともに金額減少
  - J-SOX関連で、奉行DOCUMENT Packの売上が好調
  - 9月は買い控えも影響



## 関連製品

- ◆ 新ERPのカスタマイズ収入が減少
- ◆ 都銀向け次世代EBシステムの納品が1件

## サービス

- ◆ 前期の新会社法施行に伴う保守加入者数の増加が今期の収益に寄与

# ソリューション別出荷数量(本数ベース)

(単位:本)

	07/3期 中間		08/3期 中間実績		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比
新 E R P	522	3.6	425	3.2	△18.6
L A N P A C K	2,137	14.7	2,007	15.4	△6.1
S t a n d a l o n e	10,339	71.2	9,393	71.9	△9.1
J シ ス テ ム	1,521	10.5	1,238	9.5	△18.6
合 計	14,519	100.0	13,063	100.0	△10.0

注) 出荷本数はバージョンアップを含む

## ◆32 bit 時代から64 bit 時代への転換期

- 【新ERP】……………新規本数26%減、バージョンアップ本数12%減
- 【LANPACK】……………新規本数微減、バージョンアップ本数10%減
- 【Standalone】……………新規本数微減、バージョンアップ本数16%減
- 【Jシステム】……………新規本数10%減、バージョンアップ本数52%減

# EBソリューション

## ◆都銀向けOEM製品

- 2007年8月末稼働本数： 50, 184本
- 2006年8月末稼働本数： 51, 567本

提供先	商品名	提供時期
UFJ銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

## ◆地銀向けOFFICEBANK

- 当中間期出荷本数：582本（前中間期：881本）

# 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	07/3期 中間		08/3期 中間実績		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比
売上高	8,026	100.0	8,225	100.0	2.5
販売及び管理費	3,333	41.5	4,012	48.8	20.4
販管人件費	906	11.3	1,051	12.8	16.0
研究開発費	761	9.5	1,096	13.3	44.0
広告宣伝費	434	5.4	382	4.6	△12.0
地代家賃	173	2.2	187	2.3	8.1
減価償却費	26	0.3	27	0.3	3.8
その他経費	1,033	12.9	1,269	15.4	22.8

注) 伸率は前年同期比増減率

- 研究開発費: 奉行Vのリリースに向けて、次世代ワークフローシステム及び次世代オプションコンポーネントの国内開発委託費が新規に発生
- その他経費: 展示会費56百万円増、支払手数料37百万円増、旅費交通費25百万円増、修繕費20百万円増が主な増加項目

# 貸借対照表－資産の部

(単位:百万円)

		07/3	07/9	増減
流動資産	現金預金	28,823	36,185	7,362
	受取手形	185	192	7
	売掛金	4,214	2,578	△ 1,636
	たな卸資産	104	126	22
	その他	82	142	60
	貸倒引当金	△ 30	△ 29	1
固定資産	有形固定資産	366	388	22
	無形固定資産	298	303	5
	投資その他の資産	50,127	42,316	△ 7,811
資産合計		84,169	82,201	△ 1,968

- ・投資有価証券の取得  
1,004百万円
- ・投資有価証券の売却  
△5,028百万円
- ・時価評価額の減少  
△3,811百万円
- ・その他  
24百万円

# 貸借対照表－負債・資本の部

(単位:百万円)

	07/3	07/9	増減
買掛金	252	159	△ 93
未払金	600	536	△ 64
未払法人税等	2,579	2,714	135
前受収益	4,491	3,888	△ 603
その他	569	628	59
繰延税金負債	7,024	5,065	△ 1,959
退職給付引当金	402	433	31
<b>負債合計</b>	<b>15,917</b>	<b>13,423</b>	<b>△ 2,494</b>
資本金	10,519	10,519	0
資本剰余金	18,939	18,943	4
利益剰余金	28,819	31,555	2,736
有価証券評価差額金	10,783	8,507	△ 2,276
自己株式	△ 808	△ 746	62
<b>資本合計</b>	<b>68,252</b>	<b>68,778</b>	<b>526</b>
<b>負債・資本</b>	<b>84,169</b>	<b>82,201</b>	<b>△ 1,968</b>

• 投資有価証券の時  
価評価額の減少

# キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	07/3	07/9	主な増減理由	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,380	2,849	税引前利益	6,017
			投資有価証券売却益	△ 1,775
			売上債権減少	1,629
			前受収益減少	△ 603
			法人税等支払	△ 2,724
			その他	305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 885	5,210	投資有価証券の取得	△ 1,004
			投資有価証券の売却等	6,718
			関係会社社債の取得	△ 225
			敷金・保証金の差入	△ 106
			その他	△ 173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 980	△ 734	配当金支払	△ 799
			自己株式売却	65
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	37		
現金及び現金同等物の増加額	2,543	7,362		
現金及び現金同等物期首残高	26,280	28,823		
現金及び現金同等物期末残高	28,823	36,185		

奉行

# 2008年3月期 事業計画



# 2008年3月期 計画の概要

## 売上高

前期比約12.7億円増の182.5億円

		(億円)	上期(実)	下期(計)	通期(計)
ソリューション	◆ 前期「新会社法」対応効果の反動 ◆ 奉行Document Packの売上増		△0.7	—	3.7
	◆ 「奉行V(次世代奉行)」のリリース ◆ 「奉行2000」のサポート終了		—	4.4	
関連製品	◆ 奉行Vカスタマイズ収入及び奉行連動ソフト売上増		△0.6	2.8	2.2
サービス	◆ メンテナンスフィー伸長		3.3	3.5	6.8

## 営業利益

前期比約6.7億円増の71.1億円

- ◆ 「奉行V」のリリースに合わせたオプションコンポーネントの開発委託費は継続して発生
- ◆ OBC戦略セミナー等の大型セミナーの開催は上期で一巡、下期は販売パートナーとともに奉行フォーラムを開催

## 経常利益

前期比約5.1億円増の101.1億円

- ◆ 下期は有価証券売却益は発生しない見込み

# 通期の業績見通し

(単位:百万円)

	07/3期		08/3期 計画			
		売上比 (%)		売上比 (%)	増減額	前年同期比
売上高	16,986	100.0	18,250	100.0	1,264	7.4%
売上総利益	13,488	79.4	14,640	80.2	1,152	8.5%
販売管理費	7,048	41.5	7,530	41.3	482	6.8%
営業利益	6,440	37.9	7,110	39.0	670	10.4%
営業外損益	3,157	18.6	3,000	16.4	△157	△5.0%
経常利益	9,597	56.5	10,110	55.4	513	5.3%
当期利益	5,323	31.3	5,886	32.3	563	10.6%

# 部門別売上高

(単位:百万円)

	07/3期		08/3期 計画			
		売上比(%)		売上比(%)	増減額	前年同期比
ソリューション	5,299	31.2	5,670	31.1	371	7.0%
関連製品	4,544	26.8	4,760	26.1	216	4.8%
サービス	7,143	42.0	7,820	42.8	677	9.5%
合計	16,986	100.0	18,250	100.0	1,264	7.4%

## ソリューション

- ① “奉行V”(次世代奉行)を市場投入
- ② “奉行V”オプションコンポーネントを市場投入
- ③ “奉行2000”シリーズのサポート終了
- ④ “奉行Document Pack”の売上増

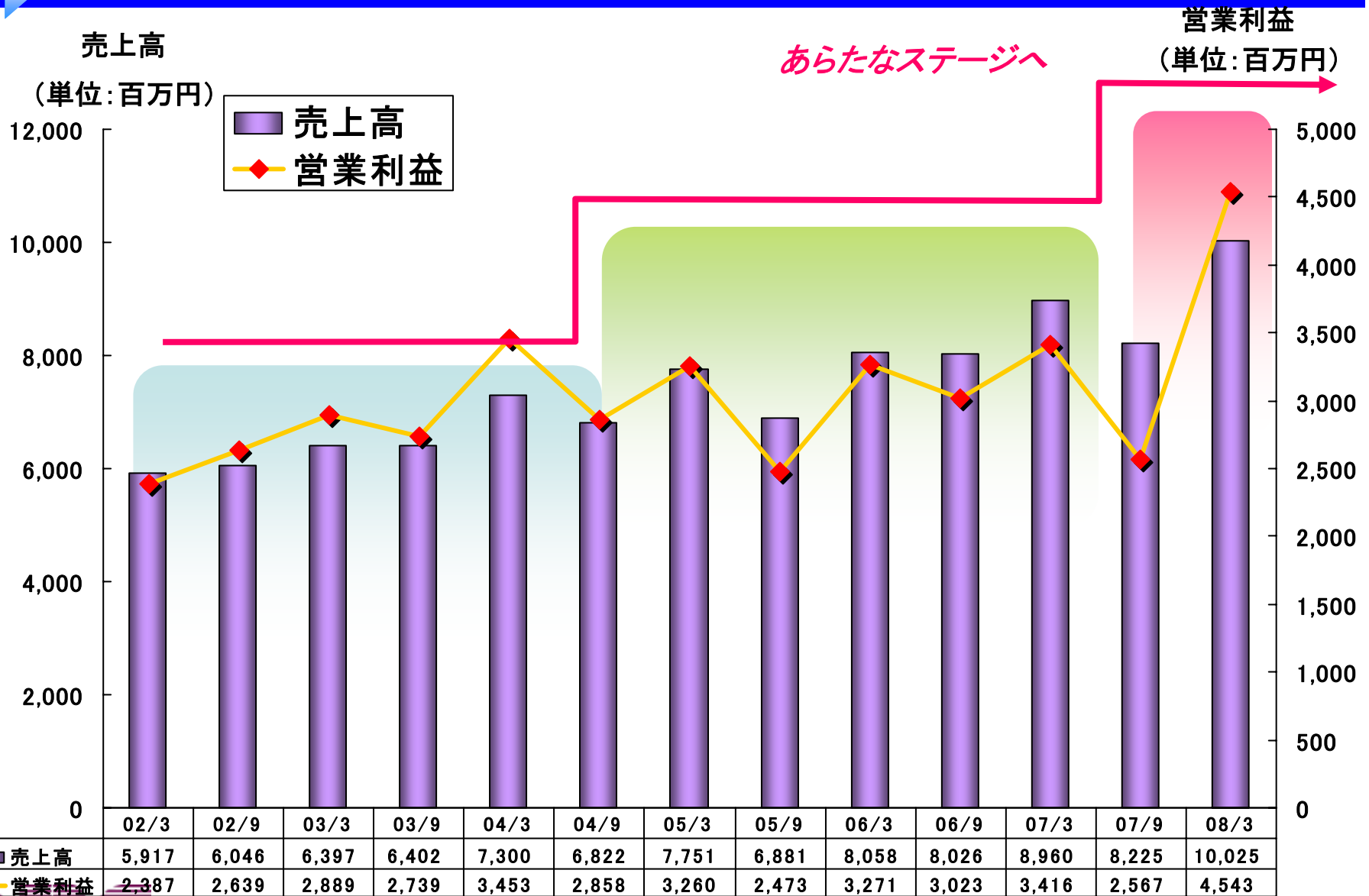
## 関連製品

奉行V ERPカスタマイズ収入及び奉行連動ソフト売上増

## サービス

前期における保守契約加入件数増加が今期収益に寄与

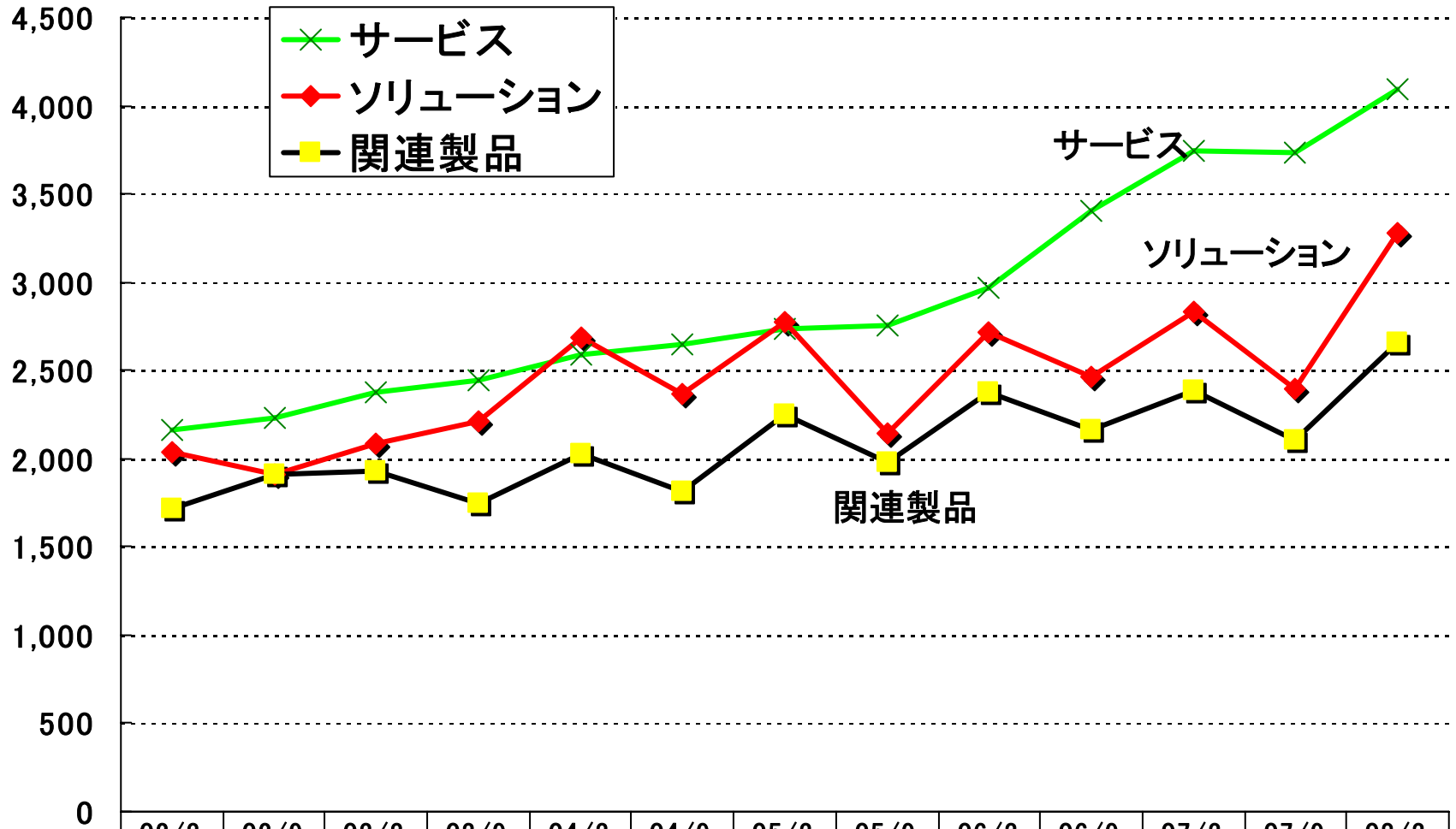
# 業績の推移(半期ベース)



← 予想 →

# 品目別売上高(半期ベース)

(単位:百万円)

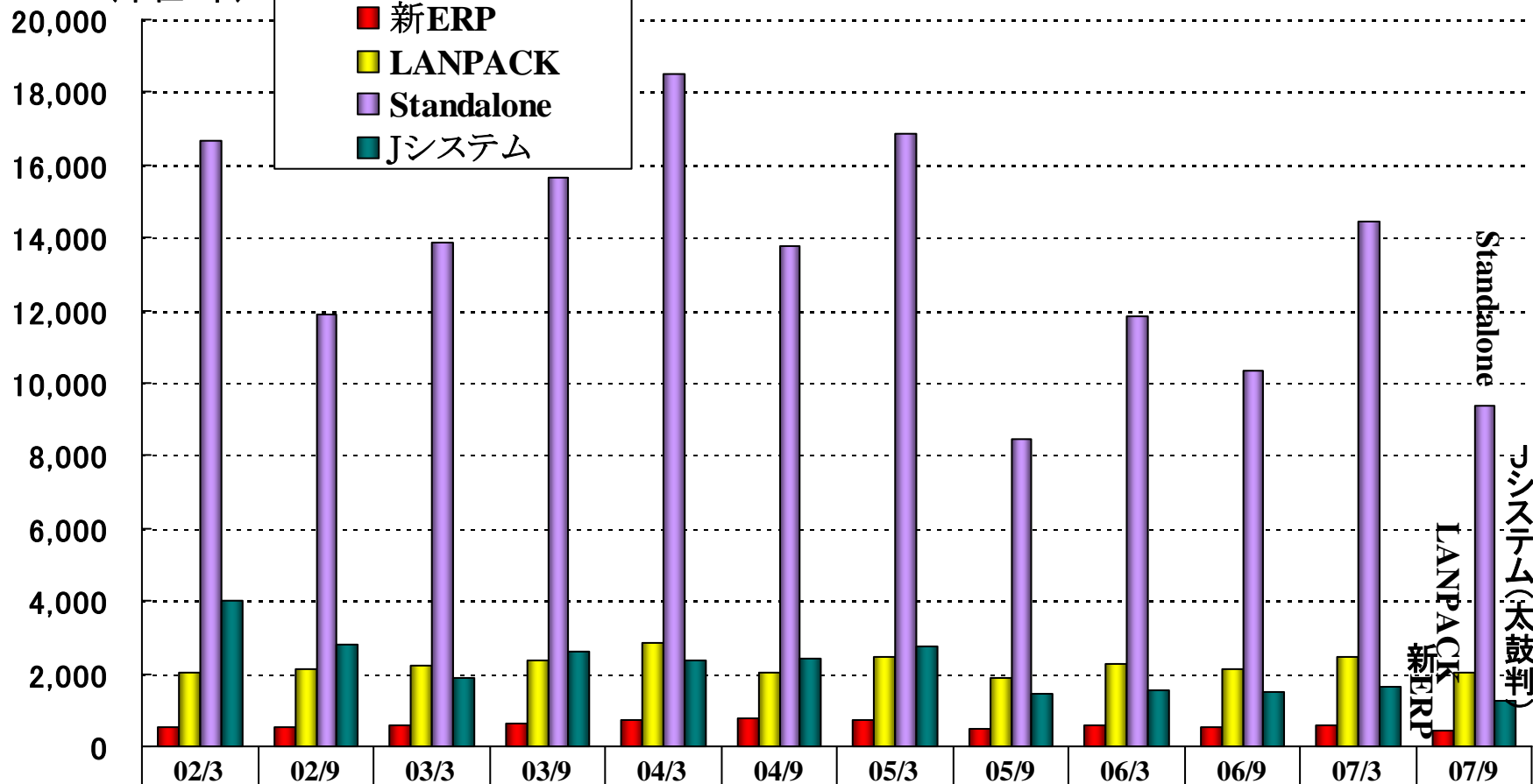


サービス	2,162	2,230	2,377	2,441	2,589	2,650	2,733	2,755	2,966	3,402	3,741	3,730	4,090
ソリューション	2,038	1,907	2,089	2,216	2,684	2,362	2,769	2,148	2,712	2,463	2,836	2,392	3,278
関連製品	1,717	1,909	1,931	1,745	2,027	1,810	2,249	1,978	2,380	2,161	2,383	2,103	2,657

← 予想 →

# ソリューションの出荷数量(半期ベース)

(単位:本)



■ 新ERP	527	511	584	606	745	776	740	507	588	522	575	425
■ LANPACK	2,038	2,143	2,215	2,369	2,836	2,037	2,452	1,863	2,261	2,137	2,469	2,007
■ Standalone	16,648	11,867	13,846	15,654	18,513	13,792	16,837	8,449	11,855	10,339	14,421	9,393
■ Jシステム	4,019	2,817	1,897	2,597	2,356	2,410	2,765	1,472	1,566	1,521	1,635	1,238

# 今後の事業戦略

◆ 奉行Vシリーズ

◆ 中国戦略

◆ M&A、アライアンス戦略

OBC戦略セミナー 2007 於ホテルニューオータニ



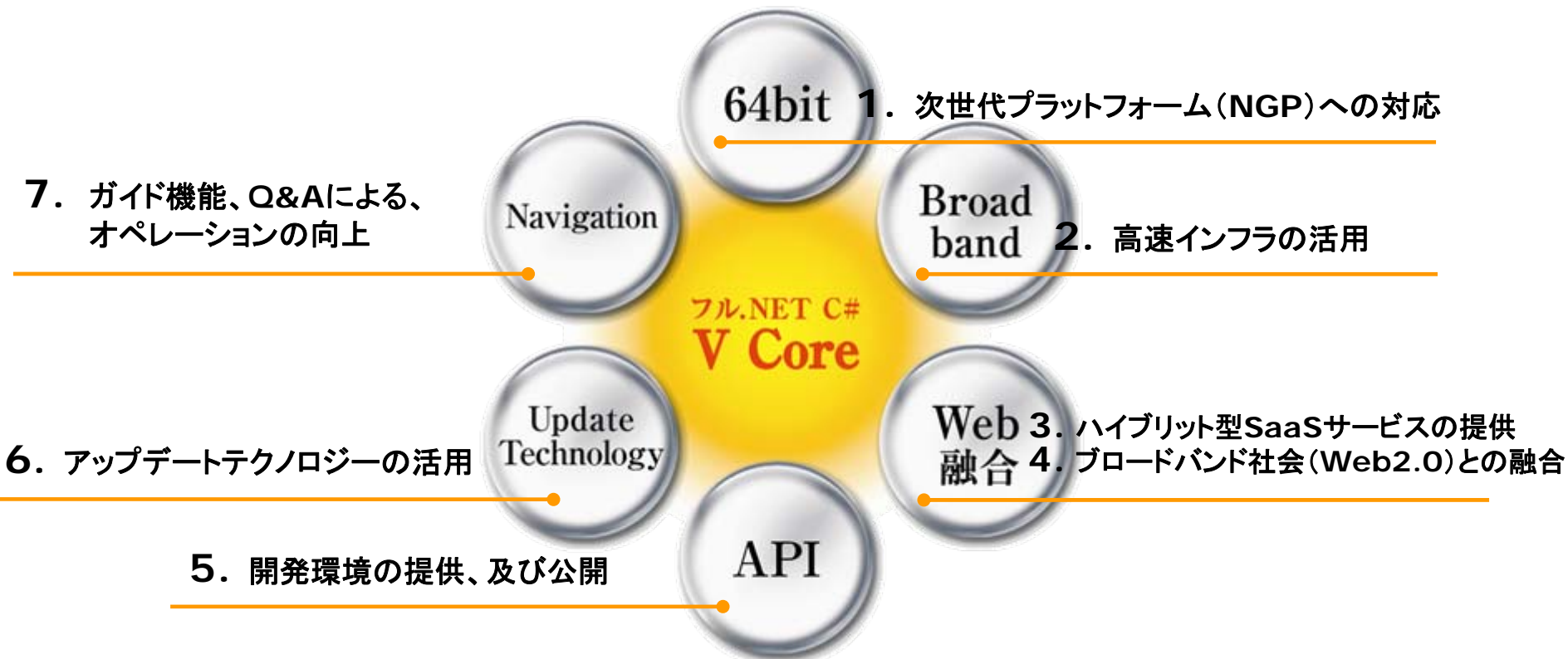
# 奉行プロダクトポジション

中堅企業と中小企業の2つの市場戦略で  
パートナーと共に更なる飛躍を目指す



- 奉行V ERPシリーズコンセプト

## フル.NET・C#・64bitネイティブ パッケージアプリケーション



より良いサービスで、ビジネスパートナーと共にお客様満足度を追求

# 奉行V ERP 製品ラインナップ

Certified for Windows Vista ログプログラムを日本で初めて取得



CERTIFIED FOR  
Windows  
Vista™



奉行内部統制ソリューションフレームワーク



— 新プロダクトライン奉行V ERPシリーズ誕生 —

## ● 奉行VERP 製品 システムラインナップ

### Advanced Edition

価格(税抜き) ¥1,900,000~

Advanced Editionとは、既存システムとの堅密な連携やカスタマイズにも対応できる奉行VERPシリーズのハイグレードモデル。必要な部分から段階的に開発や連携も考慮しており、企業の導入フェーズに柔軟に対応。

### Standard Edition

価格(税抜き) ¥1,600,000~

Standard Editionとは、社内のネットワーク環境やブローバンドを利用し複数台のPCで、伝票の入力や管理資料の印刷が可能。業務の負荷分散やデータの一元化が図れるベーシックなモデル。

### Single Edition

価格(税抜き) ¥680,000~

Single Editionは1台のコンピュータで運用することを目的としている。業務システムの運用が単体でのお客様、企業規模に合わせて導入やパイロット運用など将来の拡張を想定して、効率の良い投資を行ないたいお客様、様々なお客様に対応可能。

企業成長・拡張性

<参考>「勘定奉行VERP」の価格です。Standard Edition、Advanced Edition は、5ライセンスの参考価格です。

# 奉行V ERP リリーススケジュール

● 発表プロダクト **2007年10月販売開始**

	製品	オプション
会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>勘定奉行V ERP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セグメント管理【勘定】</li> <li>自動処理(自動バックアップ・仕訳伝票作成・受入)【勘定】</li> <li>債権債務管理／手形管理／管理会計【勘定】</li> </ul>
人事・給与	<ul style="list-style-type: none"> <li>給与奉行V ERP</li> <li>人事奉行V ERP</li> <li>法定調書奉行V ERP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目拡張／給与明細配信【給与】</li> <li>退職金管理／賃金改定【人事】</li> </ul>
販売管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>商奉行V ERP</li> <li>蔵奉行V ERP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動処理(バックアップ・仕訳伝票作成)【商蔵】</li> <li>ロット管理(ロット管理・ロケーション管理)【商蔵】</li> <li>入出荷管理(出荷指示・入荷予定・引当処理・検収処理)【商蔵】</li> <li>伝票機能管理(売上・入金・仕入・支払区分の追加、管理)【商蔵】</li> <li>入金消込【商】</li> <li>支払消込【蔵】</li> </ul>
総合管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>BACKUP奉行V</li> <li>OBC Management Studio</li> </ul>	

※【 】は、対応奉行製品。

# 奉行*V ERP* 来期発表予定プロダクト 奉行*V*

● 2008年4月より、順次販売開始(予定)

## ◆ 製品

- ◆ 勘定奉行*V ERP* [個別原価管理編]
- ◆ 建設奉行*V ERP*
- ◆ 就業奉行*V ERP*
- ◆ 固定資産奉行*V ERP*
- ◆ 申告奉行*V ERP* [法人税・地方税編]
- ◆ 申告奉行*V ERP* [内訳書・概況書編]
- ◆ 次世代Webポータル

## ◆ オプション

- ◆ 資金管理【勘定】
- ◆ 電子申告【勘定・申告】
- ◆ Web【勘定・給与・人事】

# 奉行V ERPユーザー保守サービス内容

奉行V

● 奉行V ERP保守契約会員制度(正式名称:OBC Member's Support Service)

● 価格体系 **10月提供開始**

対象製品	環境	価格(サービス内容)
奉行V ERP Single Edition	インターネット環境有り	年間保守契約Aタイプ ¥60,000 (保守契約サービス+奉行アップデートサービス利用のみ)
	インターネット環境なし、 又はプログラムの郵送希望	年間保守契約Bタイプ ¥70,000 (上記に加え、プログラムの郵送発送サービス)
奉行V ERP Standard Edition Advanced Edition	インターネット環境有り	Standard Editionは、with SQL製品価格の10% Advanced Editionは、with SQL製品価格の12% (保守契約サービス+奉行アップデートサービス利用のみ)
	インターネット環境なし、 又はプログラムの郵送希望	上記価格に、¥10,000を足した金額 (上記に加え、プログラムの郵送発送サービス)

※上記は、勘定・給与・商・蔵奉行の価格。

# 奉行V ERP導入支援サービス内容

● 運用を重視した、導入支援体系を標準化

2007年10月より提供開始

	内容
標準コース	<ul style="list-style-type: none"><li>3時間 × 4回</li></ul>
価格体系	<ul style="list-style-type: none"><li>Single Edition ¥240,000</li><li>Standard Edition・Advanced Edition ¥280,000</li></ul>
指導内容	<ul style="list-style-type: none"><li>他システムとのデータ関係を考慮し、奉行Vの活用方法を提案します。</li><li>運用設定方法の説明から、稼働テストまでを実施します。</li><li>セキュリティ管理やデータ管理に関する説明を行い、様々な企業リスクを回避するための指導を行います。</li></ul>

## 《導入支援の流れ》



- OBC Software Development Kit (OBC SDK)
  - ◆ 奉行V ERPのカスタマイズを実現するために、  
カスタマイズに必要な情報を一箇所に集積した開発ツール

- 「OBC SDK」で実現する、開発メリット

1. 外部システムと奉行V ERP Advanced Editionとのシームレスな連携
2. 奉行V ERP Advanced Editionの機能拡張
3. 奉行V ERP Advanced Editionからのデータ抽出



## OBC SDK価格

- 1カテゴリ ¥300,000  
※3カテゴリ契約時は、合計金額より¥100,000割引

## ● SDKを利用したAdvanced Edition教育コース

### ◆ 早期開発支援教育 2007年11月提供開始予定

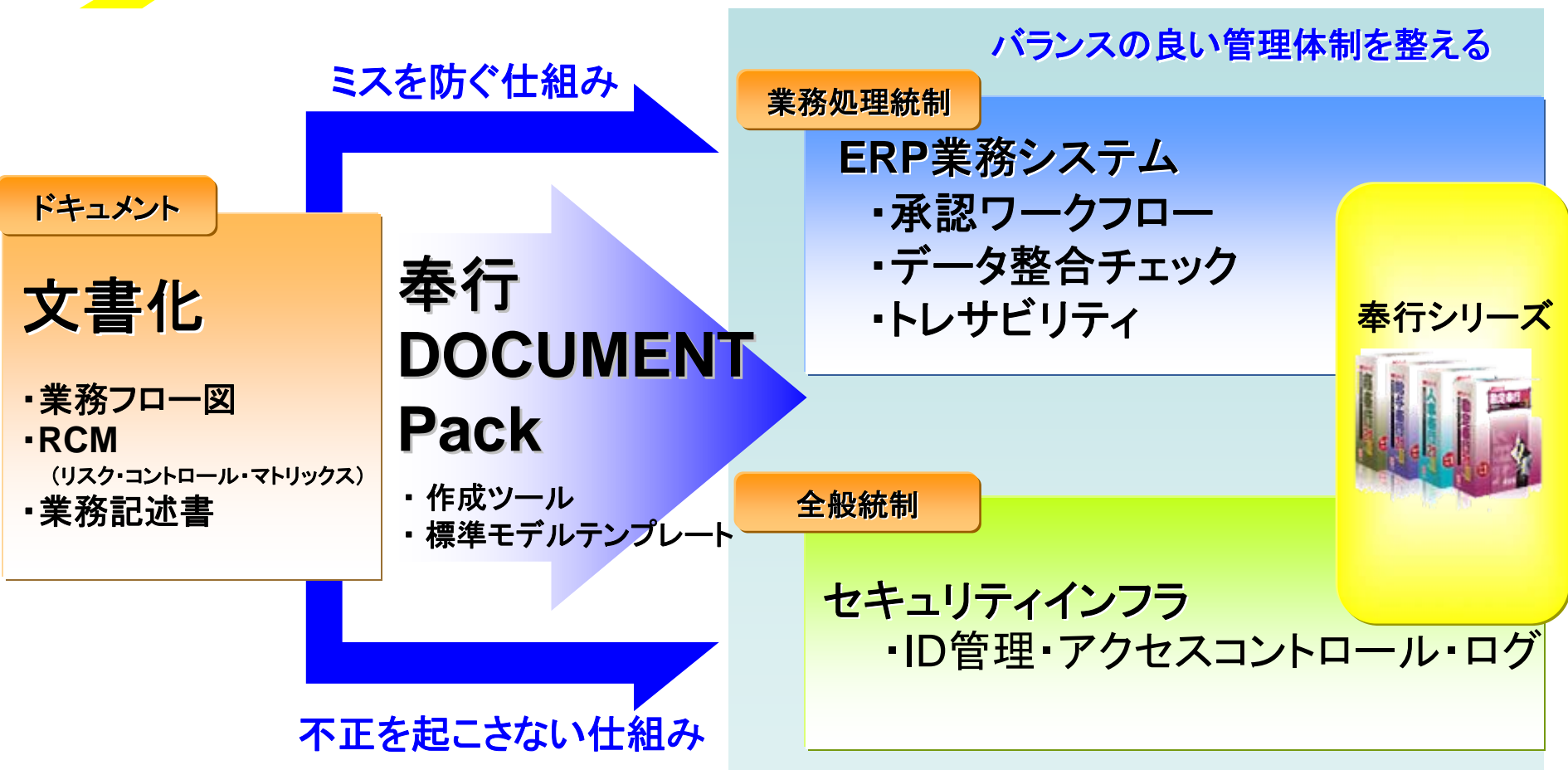
コース名	カテゴリ	コース概要	日程	価格
基礎コース	奉行V ERP Advanced Edition 共通コンポーネントの利用	奉行V全般のカスタマイズにおけるルール、OBCSDK の使用方法、共通部品の手順について、OBCSDKを 利用するに当たっての基本的なスキルを学習	1日	¥50,000
	商奉行V ERP Advanced Edition カスタマイズ	商奉行Vのカスタマイズ時に利用する、マスター系 コンポーネントや伝票系コンポーネントを使用する ために必要な知識を習得	1日	¥50,000
	勘定奉行V ERP Advanced Edition カスタマイズ	勘定奉行Vのカスタマイズ時に利用する、マスター系 コンポーネントや伝票系コンポーネントを使用するた めに必要な知識を習得	1日	¥50,000
	給与奉行V ERP Advanced Edition カスタマイズ	給与奉行Vのカスタマイズ時に利用する、マスター系 コンポーネントや給与明細系コンポーネントを使用す るために必要な知識を習得	1日	¥50,000
応用コース	奉行V ERP Advanced Edition カスタマイズボトルネック 調査・改善	弊社検証チームで培ってきたボトルネック箇所を特定 するためのヒント、ボトルネック箇所の改善ポイントを 紹介	2日	未定

※応用コースは、2008年4月開講予定

# OBC内部統制支援フレームワーク

OBCは、  
中堅・中小企業のJ-SOX法対応を全面的にバックアップ

新規出荷 好調に推移！



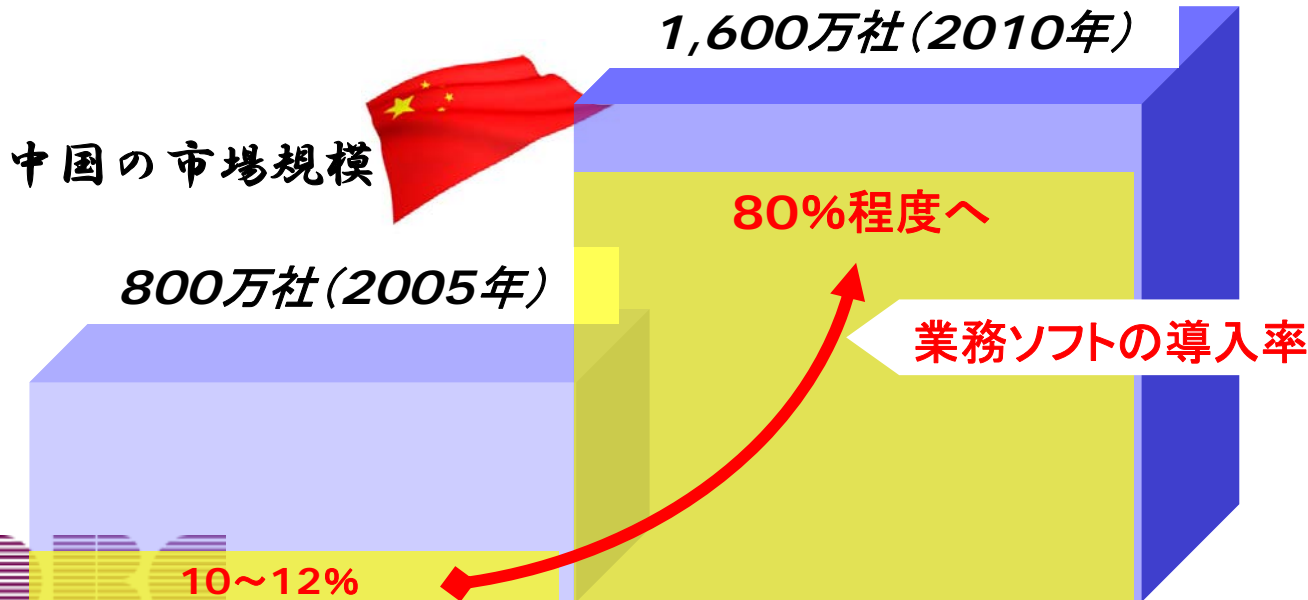
# 中国戦略 「奉行シリーズ」投入へ



## OBCの中国戦略

- ◆ 子会社2社、関連会社3社で中国戦略のベース作り
  - ★ 上海欧比西晟峰軟件 (OBC99.4%出資)
  - ★ 上海索恩 (OBC40.4%出資)
  - ★ 上海晟峰軟件 (OBC40.4%出資)
  - ★ 新中大軟件 (上海欧比西晟峰軟件33.7%出資)
  - ★ 上海博科資訊股份 (OBC25.7%出資)
- ◆ 「Windows VISTA」対応の奉行シリーズ=多通貨、多言語に対応
- ◆ オプションコンポーネント「Windows VISTA」対応開発(販売体制)、市場投入

- ◆ 奉行新ERPのカスタマイズ開発
- ◆ オプションコンポーネントの「Windows VISTA」対応版開発
- ◆ 多通貨、多言語に対応した「Windows VISTA」対応の奉行シリーズ開発



# 中国戦略 「奉行シリーズ」投入へ



## OBCの中国戦略

会社名	主な事業	主な役割や特徴
上海欧比西晟峰軟件	日本企業を顧客としたソフト開発受託	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆奉行新ERPのブリッジSE部隊としての役割</li> <li>◆奉行シリーズのカスタマイズ設計</li> </ul>
上海晟峰軟件	日本向けのソフト開発	◆開発パートナーであるOESP社に対する「奉行新ERP」のカスタマイズ作業
上海索恩	ITサービス、ホームページ作成、ASPサービス	◆中国国内事業にフォーカスし、現在事業の立ち上げに専念
新中大軟件	財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国財務会計ソフト3位、12%シェア</li> <li>◆省や県が使う公会計ソフトに強い</li> <li>◆中国国内に48の販売拠点を持つ</li> </ul>
上海博科資訊股份	物流・財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国財務会計ソフト第7位</li> <li>◆OBCの「次世代奉行シリーズ」と組み合わせることで、日系企業の経営効率を高めるソリューションを提供可能</li> <li>◆中国国内販売拠点30</li> </ul>

# M&A、アライアンス戦略

企業名	出資年月	出資比率	業務内容
フリービット(株)	2005年5月	2.5%	インターネットビジネス支援事業を展開しており、フリービット社と共同で、VPN接続を複雑な設定やソフトのインストールを行わずに実現する「OBCセキュアアクセスキー」を開発、販売。
ビズソフト(株)	2005年6月	49.0%	会計ソフト「弥生」の主力開発メンバーが設立。中小規模事業所向け業務ソフトを開発・販売。
(株)エムピー経営	2005年12月	9.6%	経営計画シミュレーションソフトウェア「MAP経営シミュレーションⅡ」を開発・販売。中小企業経営者の経営計画実践をサポート。
(株)ITCS	—	—	業務システム連動型ワークフローシステム「Manage」の独占的販売権を1.5億円で取得。Windows VISTA対応の「Manage」を開発。
(株)ディーバ	2006年3月	4.7%	連結会計システム「Diva System」を開発・販売。大手上場企業を中心に、企業の情報開示や連結経営をサポート。
ユニオンソフト(株)	2006年4月	29.8%	当社の奉行シリーズと連動して使用する手形管理システム「手形の達人」や資金繰り管理システム「資金繰りの達人」を開発・販売。
(株)アフォード・ビジネス・コンサルティング	2006年7月	39.8%	(株)アタックス、(株)オレガとの合併。 中堅・中小企業向け経営支援を目的とした診断・導入・運用と内部統制コンサルティングサービスを提供。
BOS(株)	2007年1月	33.3%	スウィングバイ2020(株)と、大企業向けの経営支援を目的としたシステム診断・導入・運用サービスを提供する新会社を合併で設立。
(株)プログレス・パートナーズ	2007年3月	40.0%	(株)豆蔵OSホールディングスと、OBCの次世代基幹パッケージを利用して適正な財務会計プロセスを保証し、「事業遂行の見える化」を実現させ、コンサルティングサービスを提供する合併会社を設立。

# 成長戦略のまとめ

## ◆2008年3月期～2009年3月期

- J-SOX対応
- Windows VISTA対応(64bit時代)
- Windows Server 2008(ロングホーン)対応

## ◆2009年3月期以降

- 中国戦略—OBCの国際化
- 消費税改正対応

## ◆M&A、アライアンス戦略(随時)

奉行

本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

[www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)

